

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南5-14-53
ふれあい福寿会館 第1棟 6階
FAX:058-275-6066 TEL:058-213-6786

<http://www.gifudeafcenter.jp/>

E-mail: gifudeafcenter@waltz.ocn.ne.jp



全国聴覚障害者情報提供施設協議会 総会および施設大会



平成25年6月27日(木)～28日(金)の2日間、新潟県聴覚障害者情報センターにおいて2013年度全国聴覚障害者情報提供施設協議会・総会および第9回施設大会が開催されました。

本年度は新たに開設された奈良県・福島県・福井県の3施設が加わり、全国の施設数は46施設となりました。

この内43施設が集い、まず総会では平成24年度事業報告・決算に関する件、平成25年度事業計画・

予算に関する件、平成25年度役員改選に関する件の5つの議案審議を行い、全て満場一致で承認されました。

次に第9回施設大会では、「聴覚障害者の社会参加を推進するために～聴覚障害者情報提供施設の役割～」と題して、厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 企画課 自立支援振興室長 君島淳二氏と一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事長 石野富志三郎氏による公開対談が行われました。

(写真下)

①「意志疎通支援」という新しい言葉に対する見解、②「災害を想定した情報保障」、③「差別解消法」の主たるテーマについての対談があり、情報提供施設の今後のあり方、誰もが幅広く使えるもの、施設の将来像は何か、それから差別をどう無くしていけばいいか、などいろいろ話していただきました。

貴重な機会で活発な意見を見聞きし、大変参考になる役に立つ内容ばかりでした。

来年度の開催地は長崎県と南端の施設ですが、積極的に施設協議会・施設大会に出席し、さまざまな情報を吸収し、報告させていただきたいと思います。

岐阜県聴覚障害者情報センター所長

田中誠一



テフリンピック女子バレーボールチーム 銀メダル獲得!!



2013年7月26日～8月4日まで、ブルガリアのソフィアに於いて第22回夏季テフリンピックが開催されました。情報センターでも試合の途中経過など、ブログで情報提供をしてきました。

岐阜県からは女子バレーボール競技に、選手2名（河尻選手・藤井選手）が出場。見事銀メダルを獲得。

予選リーグ（日本はグループA）では、メキシコ戦、ドイツ戦とストレート勝ちを収め、勢いに乗れたかと思ったのですが、常勝国であるウクライナに2セット先取したものの、3セット目から逆転を許しフルセットまで持ち越しましたが、残念ながら一敗。

その後のペラルーシ戦、南アフリカ戦を見事勝ち抜き、予選リーグを5戦全勝のウクライナに次ぐ、4勝1敗で見事2位で通過し決勝トーナメント進出を決めた。

準々決勝は、対ポーランド戦。見事ストレート勝ちを収め、準決勝へ進出。

準決勝の対戦相手は、予選リーグ（グループB）を全勝で勝ち抜けたアメリカ。第1セットを先取されたものの、2セット目移行を連取し決勝戦進出が決定！。

決勝戦の相手はまたしてもウクライナ。金メダル獲得に向けて試合に臨んだが、ウクライナに3セットを連取されてしまい、セットポイント0-3で敗れ2位（銀メダル）が確定しました。

テフリンピック終了後、インターネット上のニュースでも情報が取り上げられ、銀メダル獲得の記事が大々的に掲載されておりました。

女子バレーボールチームのメダル獲得は、2001年のイタリア・ローマ大会で金メダルを獲得、2005年オーストラリア・メルボルン大会では銀メダル、2009年の台湾・台北大会では銅メダルとメダルを撮り続けています。

しかし、この様な活躍があるにも関わらず、テフリンピックの認知度は極端に低く調査結果では数%の人しか知らないという状況。

大会が開催されるまでの間、インターネット上では認知度を上げるために、テフリンピック応援プロジェクトが発足したり、手話を取り入れたパフォーマンスグループのHANDSIGN（ハンドサイン）が、公式応援ソングなどを公開するなどして、認知度アップに協力しました。

また、認知度の低さ故に、国内のテフリンピック競技全体の資金的問題もあるようです。オリンピック選手であっても、一部の選手は渡航費用などは自己負担があるように、パラリンピック、テフリンピックの選手も同様に、様々な面で自己負担を強いられている環境です。

次回テフリンピック開催年（2017年）までには認知度が今以上になり、選手にとっての練習環境や自己負担額の軽減もされていることを願っています。



アイオーエス
iOS

アンドロイド Android って何だろう？



スマートフォンは画面に触れて、メールを作成したりいろいろなアプリを起動したりする大変便利な携帯電話ですね。

実は、スマートフォンには大きく分けて2種類の物が存在しているのはご存知でしょうか？。それが、iOSとAndroidというわけです。この2つは携帯のさまざまな機能を使うために必要な基本ソフト（OS: オペレーティング・システム）で、パソコンで言うWindowsXPやWindows7などと同じイメージです。パソコンも基本ソフト（OS）が入っていないと、まったく機能しません。

iOSは米国のApple（アップル）社が開発等を行っているもので、これを使っている携帯端末がiPhone（ 아이폰）やiPad（アイパッド）、iPad mini（アイパッドミニ）、iPod touch（アイポッドタッチ）などです。

画面の見た目もどの機種もほとんど同じで、一番普及しているスマートフォンとされています。日本ではソフトバンク、auが販売を行っています。

対して、Androidはgoogle（グーグル）社が開発を行っており、ドコモ、au（一部）、ソフトバンク（一部）から販売されているスマートフォンに、Androidが使用されています。

どちらも電話をかけたり、メールをしたりと基本的に出来る事は同じなのですが、快適に使うためのアプリの数がiOSの方が勝っており、アプリの開発もiOS版が先行して行われることが多いようです。



携帯本体の機能面では、iPhoneなどはワンセグテレビ、赤外線通信、おサイフケータイなどの機能はありませんが、Android携帯には機能が組み込まれた物が多数あります。また、iPhoneはApple社のみでの製造・販売ですが、Android端末は国内外のメーカーからさまざまなデザイン・カラーの端末が製造されています。

どちらの端末も一長一短がありますが、選ぶ時の参考にしてみてください。

スマートフォン・タブレット

iOS 端末

- ★本体はApple社でのみ製造・販売、デザインも一種類。
- ★アプリの数は約90万本。
- ★本体機能に、ワンセグテレビ（外部機器の接続で視聴可能）、赤外線通信、おサイフケータイなどの機能は無し。



Android 端末

- ★本体は国内外のメーカーが製造を行っており、端末の選択肢がたくさんある。
- ★アプリの数は約70万本。
- ★本体機能にワンセグテレビ、赤外線通信、おサイフケータイの機能あり。（機種によっては無いものもあります）



生活講座開催中



折り紙で夏らしい壁飾りを作ろう！

カラフルな折り紙を使って、夏らしいものを作ってみました。

作品は金魚のモビールです。

見た目は簡単そうなのですが、定規で長さを測ったりハサミで切り込みを入れたり、意外と細かな作業が多かったようです。

また当日は親子での参加もあり、夏休みの工作も兼ねることが出来たのではないのでしょうか。



夏休み親子企画

8月11日(日)に開催した、「親子で楽しくマジック教室」の様です。

講師の方は、マジシャンとして修行をされているのかと思いましたが、実際はテレビで放送しているマジックを見て“タネ”を考えてみて、実際に「こうかな?」「こうするのかな?」と試して、出来るようになったそうです。

当日はちょっとしたマジックショーのような雰囲気、次から次へ出されるマジックに首を傾げるばかりでした。

講師の間近で見させてもらっていたんですが、鮮やかな手さばきで何が起きているのか、一瞬では分からないほどでした。



また参加者にも簡単にできるマジックを3つほど覚えてもらい、皆の前で披露してもらいました。マジックには必ず“タネ”(仕掛け)があるのですが、それをいかに見破られないようにするのか、手つきや動きも大切な要素となっていることも勉強になりました。

通訳者の方も職員も一緒に覚えさせてもらいましたが、どうも体の動きが“タネ”を隠そうとしてしまうため、なんともぎこちなくなっていました(笑)。

メール配信サービスに登録されている方へ(携帯電話)

登録したがメールが届かない場合、迷惑メールの設定を確認してみてください。また、特定のメールアドレスを受信許可する場合は、gifuchoucenter@drive.ocn.ne.jp を、ドメイン登録する場合は @drive.ocn.ne.jp で登録して下さい。

※メール配信の登録用メールアドレスとは異なりますのでご注意ください。



情報センターのブログをご利用下さい。
毎月開催される講座の案内や、字幕付き邦画の上映予定など情報が満載です。
携帯電話からは左のQRコードを読み取ると簡単に情報を得られます。
パソコンからは <http://gifudeaf-center.no-blog.jp/> まで。

